



森づくりサポーターニュース

平成30年(2018年) 3月30日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
メールアドレス biwako@moridukuri.info URL <http://www.moridukuri.info>

森の生長ならびに生態系に合わせた 利活用と管理方法を考える(4)

今年度のシリーズの最終第4回は5つのゾーンのうち、残る「つどいのゾーン」(4.36ha)と「ふるさとゾーン」(11.52ha)の2つについて考えてみます。旧森づくりセンターがあるつどいのゾーンは、平成13年4月に最初に植樹を始め、14年度末に開設しました。その後、各ゾーンの開設は、ふれあいゾーンが16年度末、出会いのゾーンが18年度末、里の森ゾーンが25年度末で、ふるさとゾーンは指定管理初年度の26年度末でした。平成27年度の4月から初めて全園42.5haの開設と共に全体管理を始めました。

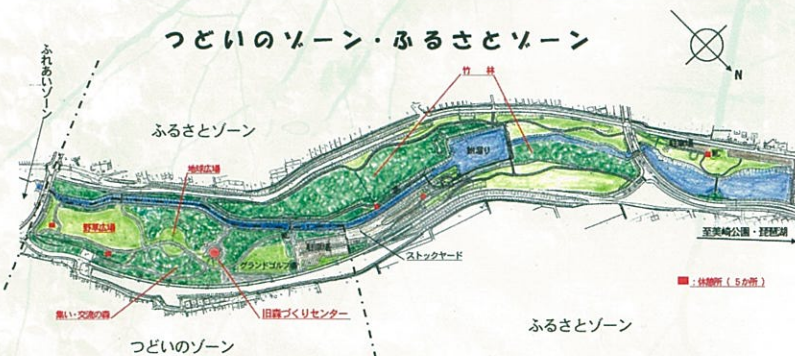
両ゾーンは、水路上流(南側)が西側の琵琶湖大橋取付け道路のバス停「木の浜農協前」方面に抜ける県道を挟んでふれあいゾーンに接し、下流(北側)は、ふるさとゾーンが今浜町美崎と接してその先は琵琶湖につながっています。

つどいのゾーンで最初に植樹した高木苗木は17年を経て、樹齢は19年になりました。樹高も高いもので15mを優に超えています。つどいのゾーンの森づくりのテーマは「集いと交流の広場」で、多彩な遊びや活動のできる集いと交流

の広場があります。多目的な野原や県民交流の森は、ネイチャーゲームなどにも利用されています。ただ、野球やゴルフの練習、ドッグランなどをしていましたので、禁止の看板を立てています。

ふるさとゾーンの森づくりのテーマは「現況保全のエリア」で、ふるさとの風景であるかつての野洲川の河畔林(河原などに自生していたクヌギやエノキ、シロダモなどの高木の林)が残されたエリアです。水景の保全と自然環境の保全を目指しながら、広い面積でマダケ、ハチクと一部モウソウチクの竹林も残しており、珍しい窓木もみられるなど、散策空間を創出しています。造成から始めた他の4つのゾーンにない森林は四層構造になっており、圧倒的に生態系も豊かで、キツネやタヌキが棲み、ウバユリやクサソテツの群落も貴重です。

美術館通から下流の緑地・湿地は整備され、休憩所やトイレができました。冬場はここから伊吹山が大きく望め、絶景です。中流の鮒溜りの傍らにはデッキが、上流には複数の橋が造られ、現在は東岸の小高い場所と西岸の水辺に休憩所を設置中です。園路の整備も進められており、自然観察やウォーキングに適した素晴らしいゾーンになりそうです。



窓木あたり



竹林と周辺



ウバユリの花

第4回

「森づくりサポーター活動」

平成29年度最後の「森づくりサポーター活動」が、平成30年3月10日（土）に開催されました。

当日は、天候にも恵まれ、森づくりサポーター79名、ガールスカウト14名、計93名の皆さんが参加し、江見所長のあいさつとオリエンテーションのあと、森の中での活動が始まりました。

森づくりサポーターの皆さんは、里の森ゾーンの平成20年から21年に植栽された落葉と常緑の入り混じった広葉樹の森の間伐作業を行いました。あらかじめテープで目印をした樹木の幹や枝を間伐し、そのあと材の利用も考え細かく整理する作業はなかなかの重労働でしたが、サポーターの皆さんは熱心に作業を行い、綺麗に手入れされた森は早春の日差しを浴びて一段と元気を増したようにみえました。



開会式の様子



間伐作業



整理された伐採木

一方、ガールスカウトの皆さんは、中村實先生の指導のもと、森の中で芽吹きした植物や開花し始めた樹木など冬越しの生命力豊かな自然の生きものを観察し、ネコヤナギの可愛い花穂やウメの可憐な花に春の訪れを感じていました。そのあと、クヌギやコナラの間伐材にシイタケ菌を打ち込む体験をしました。



ネコヤナギ観察



ウメ開花観察



シイタケ菌打ち体験

活動後は、みんなで豚汁とおにぎりを賞味し、体の温もりを感じるとともに体の疲れがちょっぴり癒されました。

参加していただきました皆さん、ありがとうございました。平成30年度も、さらに充実したサポーター活動を計画していきますので、どうか皆さんのご協力をお願いします。

第4回「森づくり活動団体」意見交換会を開催!

平成30年1月25日に、森づくりサポーターとして登録され、定期的に活動されている団体（ふくの会・さんまる会・森楽・みいの会フォレスト・32期園芸・レイカ33会・みろく会・レイカ36会・さんな会・みな会の会・はやのの森探検隊・花の38会）の代表者など28名が集まり、今年度で4回目となる意見交換会が行われました。

まず、それぞれの団体の紹介で、活動状況として、「球根や草花を植えたこと」、「参加状況の良し悪し」、「みんなが月に一度、集まることを楽しみにしていること」などの話を伺いました。また、「参加人員が減り寂しくなってきた」という声もありました。

続いての意見交換では、「各担当地で、ビューポイントをつくれぬか」、「四季桜についても適切な手入れをしていきましょう」、「園内の看板・案内板の整備を早くしてほしい」、「園路に距離表示があると歩いたり、走ったりする時の目安になるのでは」などのご意見をいただきました。

また、「担当地に、担当団体の明示をしては」という意見がありました。

これについて今井紘一サポーター代表から、「植樹の際にも植樹者の明示をしておりません。これは、『記念植樹ではなく、この森全体をみんなでつくっている』という意味からです。」と伺いました。サポーター活動につきましても、便宜上担当地を決めていますが、「この森全体の手入れをみんなでしている、関わっている」ということから、表示はしないものとします。

最後に、アドバイザーの中村實先生から、「いろいろな生き物がいる『豊かな森』をつくるために、野草や雑木の種を他から拾ってきて森に播くのも良い」、「利用者に楽しい森づくりを考えてみては…」などのご意見とともに、サポーターの皆さんには「これからも楽しみながら森づくり活動に関わっていただきたい」というお話がありました。



意見交換会の様子



球根の植え付け



間伐材を利用した小道づくり

お知らせ

— びわこ地球市民の森のつどい 2018 について —

平成30年度のつどいは、「育もう みどりの未来 つないでいこう みどりのバトン」をテーマに5月27日（日）に開催します。
緑あふれる森のつどいに多くの皆様のご参加をお待ちしています。

— 平成30年度森づくりサポーター活動の計画 —

平成30年 5月27日（日）
平成30年 7月28日（土）
平成30年10月14日（日） 予定
平成31年 3月 9日（土）

びわこ地球市民の森のつどい2018
植栽地の育樹活動と自然学習など
植栽地の育樹活動と自然学習など
植栽地の育樹活動と自然学習など



平成30年度

「びわこ地球市民の森・森づくり講座」のご案内

県営都市公園「びわこ地球市民の森」では、『森を学ぶ』、『森を調べる』そして『森で楽しむ』ことを目的とした「森づくり講座」を開催します。この講座で身近な自然と森づくり活動について学び、体験して、森の育成や環境のために自分ができることを見つけましょう。

皆様のご参加をお待ちしています。

1.会 場 びわこ地球市民の森「森づくりセンター」

〒524-0102 守山市水保町2727

2.開設日時 平成30年6月～平成31年3月の原則として毎第3土曜日

午前9時から12時まで

3.講座の主な内容(講師等の都合で講座内容の変更がある場合があります)

開講日	講座の内容	開講日	講座の内容
平成30年 6月 16日(土)	開講式 (講話)森づくりの目的と今日までの経過、そして今後の維持・管理の進め方 (実習)初夏の自然観察と園内の案内	11月 17日(土)	(講話)巧妙な植物の繁殖方法と種子の広がり方を学ぶ (観察)秋の自然観察(いろいろな種子を観察し、その広がり方を調べる)
7月 21日(土)	(講話)地球規模の環境問題の現状と課題 (講話と調査)森の土壌生物を調べる	12月 15日(土)	(講話)ドングリをつける樹木の特徴と動物とのかわり (実習)間伐材やドングリ等でクラフトを楽しむ
8月 18日(土)	(講話)森のしくみと移り変わり (講話と実習)夏の森を写そう(写真撮影を楽しむ。次回に作品提出・館内展示)	平成31年 1月 19日(土)	(講話)びわこ地球市民の森をビオトープとして再生しよう (講話と実習)キノコの生活の特徴とシイタケの菌打ち
9月 15日(土)	(講話)身近な植物の名前の調べ方(植物図鑑の使い方) (講話と調査)園内の水路に生育する水生植物の種類と分布を調べる	2月 16日(土)	(講話)生物多様性危機の現状と森の外来生物について (講話と観察)生きものの冬越しを観察する
10月 20日(土)	(講話)滋賀県の環境政策の方向性について (講話と調査)各ゾーンの植樹地の樹林密度を調べる	3月 16日(土)	(講話)地球市民として「森づくり」に参加しよう (グループ討議)これからの森の利・活用について考える 閉講式:修了証の授与

実習について:「森づくりサポーター活動(下記のとおり年3回実施予定):主に植樹地の間伐作業、枝打ち作業、つる切り作業」に参加します。したがって、全講座の開催回数は13回になります。
(1)7月28日(土)、(2)10月14日(日)予定、(3)平成31年3月9日(土)

(募集人員、受講料、申し込み方法等については、「森づくりセンター」までお問い合わせください。)

編集後記

毎年度つどいの活動と併せて4回実施しています森づくりサポーター活動も、平成29年度は台風の影響で中止となりました第3回を除いて計3回、延べ335人の皆さんの参加のもと無事活動を終えることができました。

また、サポーター登録の皆さんは今年度末で16団体399人となり、さらに数多くの企業・団体様のご協力もあり、年間を通じて充実した森づくり活動ができるようになりました。

ご参加いただきました皆さんありがとうございました。平成30年度も引き続き森づくり活動にご協力いただきますようよろしくお願いします。

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100～200m
植樹面積	80,808㎡
植樹期間	H13～H25
植樹活動参加者数	45,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数(H28)	168,592人
森づくり活動参加者数(H28)	7,029人
うちサポーター活動参加者数(H28)	2,518人